



2019.5.10 第130号

発行所/コモンズ
編集機関紙局/東京都中野区新井2-7-12-25号
電話: 03-3389-0411 Fax: 03-3389-8573

郵送購読料/1部500円、半年2500円(一年5000円)
郵便振替口座/00100-5-391171(コモンズ政策研究機構)



大阪・中之島公園に1000名が結集

東京・日比谷野音に6000名が結集

「天皇代替わり」攻撃に抗し全国各地で第90回メーデー挙行！
社会の主権者は労働者民衆自身である
「自衛隊明記する」9条改憲急ぐ安倍政権打倒へ、こころが頑張り時だ！

安倍政権は、「天皇代替わり」「即位式奉祝」でメーデーを呑みこむために世界の労働者の祭典であるメーデーに即位式をぶつけてきた。安倍政権はこの国の労働者階級の尊厳を貶め、労働運動を解体し、天皇制を利用して安倍政治への人心の離反をほころびをこらして「戦争のできる国家」体制へと国民を総動員しようとしている。

5月1日、世界ではドイツの38万人、フランスの31万人をはじめ欧州各国、アジア各地でメーデーが開催され、日本でも、全国各地で94カ所で行われ、安倍政権は「追悼」を求め、メーデーが実行された。(別掲5・1メーデーの報告参照)

ゆえに本年のメーデーのテーマは折しも「令和改元」一色の奉祝ムードに対し、安倍政権の企みに屈することなく、この日こそ1986年米国防力科で8時間労働を要求する第1回集会を記念するこの後勃発したハイマーケット広場の警官隊との衝突で労働者4名が証拠もないまま、事件の首謀者として死罪にされた権力犯罪を永遠に忘れないための労働者のための特別の日である。さらに関西をはじめ全国の労働者にとって、連帯ユニオン関西生コン支部に加えられる労働者・労組にかけられた攻撃である事を共に再確認する日でもあった。

「天皇代替わり」儀式は、本年5月1日の「即位」だけでなく今秋10月の「大嘗祭」、来年4月の「立皇嗣の礼」まで大小40儀式をもって一年にわたって続き、テレビ・新聞などマスコミを通じての「奉祝」ムードの煽動過程が、安倍政権の企む9条改憲・戦争国家化過程と一体の攻撃となっている。

東京 全労協主催メーデー
「日比谷野音に響く」
「安倍政権打倒を固く誓う！」

東京 全労協主催メーデー
「日比谷野音に響く」
「安倍政権打倒を固く誓う！」

大阪で第90回中之島メーデー
「連帯労組への権力弾圧に抗議の大集会」
「天皇即位反対大阪集会も同日開催」

大阪で第90回中之島メーデー
「連帯労組への権力弾圧に抗議の大集会」
「天皇即位反対大阪集会も同日開催」

東京においては、5月1日には代々木公園にて全労連が、日比谷野音公園にて全労協がそれぞれメーデー集会を開催し、世界の労働者と呼応する労働者の階級的団結を高らかに示した。
日比谷野音には6000名が結集した。主催者を代表してあいさつに立った園芳東京地本委員長の鎌田博一さんは、安倍政権によって2020年にも画策されている憲法改正国民投票を国民主権・基本的人権・平和主義への挑戦と位置付け、平和憲法が戦後最大の危機に直面している」と訴えるとともに、福島原発、沖縄

その後、全労連主催の東京メトロの下請け労働者からなる全国一般労組メトロセルビス分会からの闘いの報告、全国一般東京南部に所属する外国人労働者から低賃金重労働の訴えのあと、連帯労働者生コン支部の坂田冬樹さんが登壇。
「昨年夏からの10ヶ月間で逮捕累計63名、家宅捜査は近畿田で130箇所以上。滋賀県警、大阪府警による組合と宣言し、会場から大きな拍手に迎えられる。

「来たる7月の参院選挙では沖繩は、沖繩独自のオール沖繩で闘い抜く決意だ。これほど沖繩に過酷な仕打ちを続ける安倍自公政権を打倒すべく、沖繩からこころ大阪から、皆さんの足元から、わが国の姿を替えて行くことではありませぬか。沖縄でも闘争は続ける」と訴え、(2ページに続く)

「このメーデーを戦争・改憲・貧困・差別の安倍政権打倒を固く誓うメーデー」との連帯メッセージが紹介され、また、韓国民主労総大阪中之島メーデー実行委員会からもメッセージが届いていると報告された。



- 5.3有明憲法集会/玉城デニー知事講演の集い... 2面
連帯議員ネット全国へ広がり/木村真豊中市議当選... 3面
菅 孝行「天皇制と闘うとはどういうことか」補論... 4~5面
国際資本搾取へ反撃の反緊縮(松尾経済論文を読んで)... 6面
映画『主戦場』/伊達判決再審 6.12第一回公判へ... 8面



# 5.3 憲法集会

5月3日 東京臨海広域防災公園

晴れたる空の下、東京有明の防災公園には関東一円から6万5千人の市民・労働者が駆けつけた。平和といのちと人権を！5.3憲法集会実行委員会主催により開催された憲法集会に参加するためである。その数は昨年6万人を下回った。今まさに平和憲法存続の危機が訪れている！

安倍首相は同日午前、都内で開かれた日本会議系右翼の集会において「2020年改憲法施行」を目標とすると言明したのである。また「9条への自衛隊明記を先頭に立って責任を果たしていく」とも言い切った。戦前政治への回帰を自認する安倍政権による憲法9条改憲は絶対に阻止しなければならない！本日「」に結集した参加者の心は熱くみなぎっている。(東京M)

## 関西生コン支部への弾圧は我々への弾圧だ

会場は11時から様々なイベントで賑わっていた。メインステージ脇のサウステッジでは沖繩、憲法、外国人労働、日韓関係などをめぐるトークが行われ、またライブや映画上映会なども行われた。出店ブースに並んださまざまな団体の中には滋賀県警・大阪府警による理不尽極まる弾圧に抗議された。

## 日本国憲法があつたから沖繩は日本になつた

神田香織さんの司会により、最初に主催者を代表して高田健さんがあいさつ。国会内での改憲発議を自認する安倍の目論見を打ち砕くために国会内野党と連携し国会外で野党と市民の共闘を実現しようとした。音楽評論家の湯川れい子さんは平和の中でこそ音楽を本心に自由に楽しめることを訴え、安倍政権が突き進む戦争可能国家への道を批判した。

を表明し、また「今の日本国憲法があつたから沖繩は日本になつた」と語った。

## 勇気を持って権力弾圧から報道の自由を守ろう

京都大学法学部教授の高山佳奈子さんは、政治に無関心な人は民主主義を自分の行動で否定し独裁に従うことを認めていると語り「今変えるべきは憲法ではなく政権です」と簡潔に述べた。

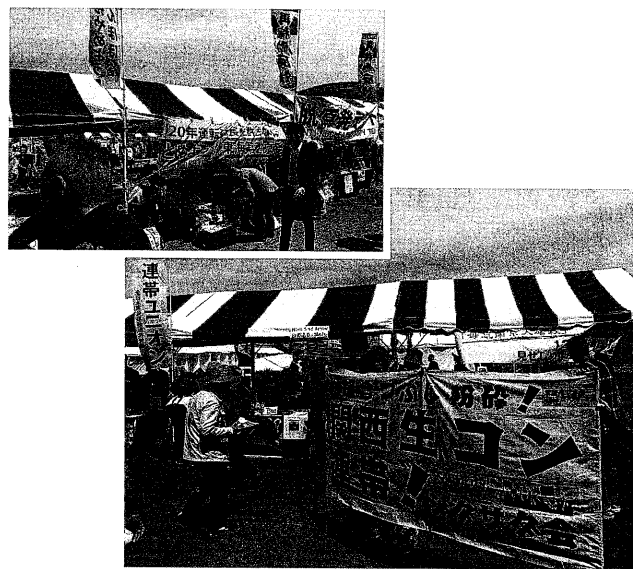
元NHKジャーナリストであり武蔵大学教授の永田浩三さんはNHKディレクターである高橋洋一氏を批判し、記者会見で不当な圧力を受けながら市民とともに闘っている東京新聞記者の勇気を称えた。



## 時給300円！外国人労働者に過酷な奴隷労働

集会はこの後も続き、各政党からの挨拶、プラカードアピールと続き、玉城デニー沖繩県知事からのメッセージが読み上げられた後、東京大学名誉教授の広渡清吾さんから市民連合の訴えが行われた。リレートークに移り、朝鮮高校無償化を求める朝鮮中高級学校生徒たち、貧困問題に取り組み東京大学教授の本田由紀さん、福島原発訴訟の武藤類子さんが発言した。

「移住者と連帯する全国ネットワーク」代表理事の鳥井一平さんは外国籍労働者を放射能除染労働を強制するなど「人身売買」「奴隷労働」と言われる実態、「実習生」の弱点を悪用した時給300円という過酷な労働条件で酷使する日本企業の実態を告発した。鳥井さんは「外国人労働者問題は他ならぬ私たちの問題である」「労働対等原則が担保される多民族多文化共生社会を作らなければならない」と訴えた。



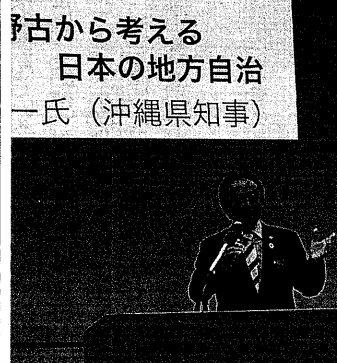
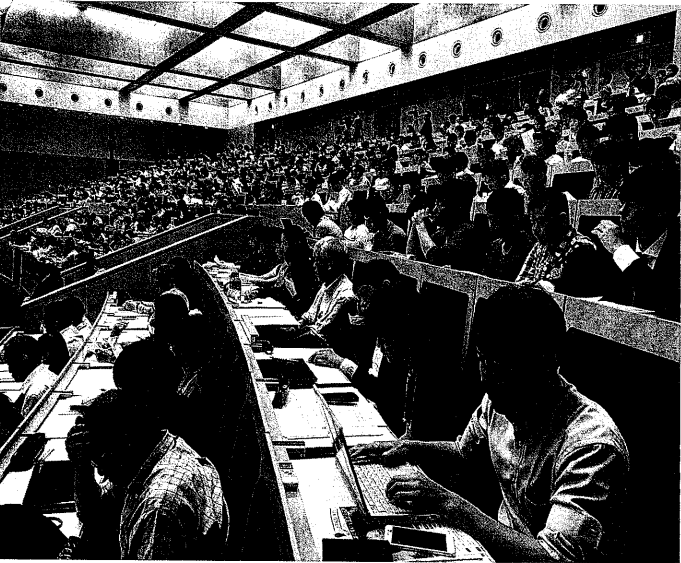
## 玉城デニー沖繩県知事講演の集い

4月25日 早稲田大学14号館201号室

## 講演の集い

4月25日(木)、沖繩から玉城デニー知事と県民投票の会の元山仁史郎さんを招いて早稲田大学早稲田キャンパス14号館にて沖繩県知事講演の集いが開催された。

主催は早大職員9条の会、安保関連法の廃止を求める早大有志の会、沖繩平和ネットワーク首都圏の会、沖繩戦の歴史を継ぐ会、沖繩の真実を伝える会、首都圏の会、生活と憲法研究会(早大生サークル)の多くの人々から構成される「沖繩県知事講演の集い」実行委員会。TOYOさんの三線による音楽のあと、最初に玉



野古から考える日本の地方自治 一氏 (沖繩県知事)

## 5.1中之島メーデーの発言 連帯労組、権力不当弾圧に抗して

(大阪労働者弁護団発言要旨)

「本日はこれだけの人数でデモに行くと言ったことでもって来た。連帯ユニオン・関西生コン支部の日常活動に関し、明い話題としてはこの一年間、非正規労働者の不当な待遇改善のため連帯ユニオンの方々が立ち上がり、昨年6月には最高裁判決で2つの勝利判決を勝ち取った。様々の諸手当が非正規に支給されないのは不当であるとの認識を認めさせ画期的前進となった。この判決勝利を受けて、関西地区でも連帯組合員2名が提訴に踏み切った。この訴えは必ず勝ち取るはずだ。これら勝ち取った成果を皆さん職場で広く実現させて行かねばならない。」



## 5.15 労働組合つぶしの弾圧を許さない座り込み集会

●日時 5月15日(水) 8:00~18:00  
●場所 大阪地方裁判所前公園 (西天満若松浜公園)

労働組合つぶしの弾圧を許さない実行委員会 (連絡先) 全港湾関西地方大阪支部気付 電話: 06-6575-3131





# 連帯議員ネット、全国へ広がり

## 戸田ひさよし代表は無念の敗戦―捲土重来を期す



地方の根から安倍・自公政権追求の火の手を上げ続けている市民派行動議員連帯議員ネット(戸田ひさよし代表)の選挙結果は、周知の通り代表の戸田氏が門真市議選でまさかの敗戦と言った結果に戸田氏から今回結果を受けてハッセル

# 市民との交流低下を反省

# 「森友事件」摘発で、安倍を追求!

大丈夫だから...という心無い切り崩しやキャンペーンに大差詰められた中野さん。この中野市議は前回の倍の得票4486票、第1位で4度目の当選を勝ち取ることができた。



連帯議員ユニオン副代表として戸田ひさよし代表と共に市民派議員を取りまとめ、今回のはあの「森友事件」疑惑の第一摘発者として全国に名をあげた豊中市議員木村真さんが、

## 京都で天皇制反対集会

5/4

「天皇にも人権を」自由に辞める権利を!

天皇陛下の即位を受け、天皇制に反対する集会在関西各地で開かれた。集会では上杉隆元大阪市長が講演し、天皇にも人権を認めよと主張した。上杉氏は「天皇が退位の意思を強く示さなければ、オメッセージを公表した際、

「退位すべきではない」との声の一部が上がったことを紹介した上で、「人権感覚が抜けている」と指摘。本来は辞めたい時に辞める権利があるはず、今の天皇制はおかしいと天皇制全体への疑問を呈した。

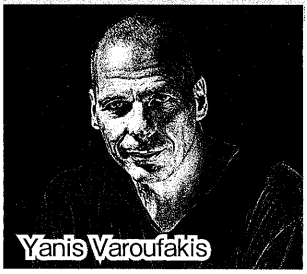
- ### 5月の市民行動
- サヨナラ安倍サヨナラ ランブーG20大阪NOア クション・ウィーク5・11フ レ企画 5月11日(土) 18時30分 場所:エルおおさか 講演:G20の混迷と私たちの未来 小倉利丸さん 主催:G20大阪NOアクション・ウィーク実行委員会
  - ワイルドピースコンサート 5月12日(日) 13時30分 場所:ドーンセンター・インディアン・フォーク・バンド 月桃の花歌舞団 Swing MASAほか 当日2500円 主催:ワイルドピースコンサート実行委員会 インディアン・フォーク・バンド来日プロジェクト
  - 5・15労働組合つづきの大弾圧を許さない座り込み 集会 5月15日(水) 8時 場所:大阪地方裁判所前公園(西天満橋松原公園) 公開 10時~17時 公開終了後、公園にて報告集会 主催:労働組合つづきの大弾圧を許さない実行委員会 ●君が代強制に抗して、戦争する国への教育と闘う! 5月18日(土) 18時30分 場所:エルおおさか 主催:日丸君が代強制反対・不起立処分を撤回させる大阪ネットワーク
  - 5・19安田純平さん講演会 シリア人質40カ月の深層に迫る 5月19日(日) 14時 場所:エルおおさか 講師:安田純平ジャーナリスト 聞き手:藤原亮司(ジャパンプレス所属ジャーナリスト) 参加費:500円 定員:100人(要事前申込み)



## 統一地方選(後半) 薔薇マーク議員7名が誕生

運動は国際的な連帯へ 元ギリシャ財務相からメッセージ

◆公共のための財政出動と反緊縮経済政策を訴え、今年3月立ち上がった薔薇マークキャンペーン(代表:松尾匡立命館大学教授。同組織から認定を受けた統一地方選議員立候補者のうち7名の有志が当選したとの報告が事務局からあった。



市議員選挙日本共産党ノ森ゆき子(九州久留米市議会議員選挙無所属)藤林詠子(元ギリシャ財務相でEUの押しつけた緊縮策に反対して人びとの生活を守るために闘ったヤニス・バルファキス氏から、薔薇マークキャンペーンへ向け連帯のメッセージが届いた。

同氏はギリシャ政府がEUの圧力に負け緊縮政策を受け入れたことに抗議し財務相を辞任。現在はDIEM25(ヨーロッパに民主主義を運動のDIEM25)を率いて「ヨーロッパ・ニューティールを提唱するタリス(アメリカなど組んで、極右勢力台頭に対峙するProgressive International(革新派インターナショナル)を提唱し活動中だ。

## 4月14-15日 全国港灣一斉スト・関西でも 集団交渉潰しを図る船主資本の策動許さず

◆今般の全国港灣一斉スト貫徹について、連帯ユニオン関西地区生コン支部広報では次の見解を支部組合員に発し企業の枠を超えた集団交渉体制破壊を狙う船主・資本側を指摘。現況の、生コン支部に加えられる資本独占の卑劣な攻撃と同根であるとして、次の見解で組合員へ自覚を促した。

### 4月14・15日 22年ぶり全港スト

「港灣がストで混乱など組合側に責任があるかのような報道が流れているが、原因は港灣における集団交渉つがしをめぐり業界とその背景にある船主にこそあることを見抜く必要がある。

3年前から日港協(業界団体)は集団交渉による最低賃金協定は独占禁止法違反のおそれがあると言いつつ、労働側は中央労働委員会に昨年からのせん案を求め、今年2月にはあつせん案が示された。その案は、最低賃金協定は48時間スト 全国港灣の見解(4月10日) 日港協が前最低賃金制度に関する産統一回答に「独占禁止法に抵触する恐れがあり」として拒否し続けている問題に、全国港灣は中央労働委員会に判断を求めた。

4月21日投票の統一地方選挙(後半)と衆議院議員補欠選挙では、19名の薔薇マーク認定候補が選挙にのぞかれ7名の方が当選されました。 当選された候補者と支持者のみならず心よりお喜び申し上げます。

みなさんの奮闘はかならずこの社会を前進させることにつながったものと確信いたします。

選挙結果の分析・評価は統一地方選挙前半のものも含め、これからじっくり行います。 薔薇マーク認定を受けた候補者や支持者のみなさんには深く御礼申し上げます。 党/坂林たくみ(近畿)姫路

選挙結果の分析・評価は統一地方選挙前半のものも含め、これからじっくり行います。 薔薇マーク認定を受けた候補者や支持者のみなさんには深く御礼申し上げます。 党/坂林たくみ(近畿)姫路

選挙結果の分析・評価は統一地方選挙前半のものも含め、これからじっくり行います。 薔薇マーク認定を受けた候補者や支持者のみなさんには深く御礼申し上げます。 党/坂林たくみ(近畿)姫路



## 港灣は、島国日本における経済活動と国民生活を支えている基幹産業

港灣トラック、倉庫、関連企業などに働く仲間が集まった海陸一貫輸送をいなる産業別労働組合です。

港灣は、島国日本における経済活動と国民生活を支えている基幹産業。港灣トラック、倉庫、関連企業などに働く仲間が集まった海陸一貫輸送をいなる産業別労働組合です。

港灣は、島国日本における経済活動と国民生活を支えている基幹産業。港灣トラック、倉庫、関連企業などに働く仲間が集まった海陸一貫輸送をいなる産業別労働組合です。

補論の掲載に当たって

私たちの天皇制に対する基本的態度

朝鮮侵略、沖縄差別、安保と天皇制の三位一体の課題

コモンズ編集委員会

明治に成立した近代日本の天皇制国家は内にアイヌ民族と琉球民族に対する暴力による併合（琉球王国の解体と併合）外に朝鮮・中国・アジアへの侵略戦争と軌を一にし、それはアジア太平洋戦争に至る近代国家日本の植民地支配・強制連行・徴用・日本軍慰安婦強制の歴史である。

敗戦と米軍占領、朝鮮侵略戦争を契機に成立した戦後日本国家の基本的特徴は、日米安保体制の軍事的原理と「平和憲法」の原文と9条の戦争放棄と平和主義の異質な原理の抱き合わせの関係の中に、沖繩を米軍に（昭和天皇が売り渡し「象徴天皇制」として「象徴天皇制」として維持した天皇系項を遺し、

国家の深部で戦前の侵略と他民族殺戮・抑圧の「大日本帝国の栄光を継承するものである。

また民主主義とは人民の自己決定権による自己統治を本位とする。にもかかわらず戦後の「平和憲法」は神から人間になったといえ特定血統を持った天皇・皇族によって世襲される「象徴天皇制」という民主主義とは無縁の第一線を遺し、天皇制イデオロギーが最大限活用されて日常生活に張りめぐらされ、諸個人に内面化され、国家権力の差別・分断と支配・抑圧管理の体系の重要な柱となっている。

ゆえに、私たちは、当面する社会・政治革命において、

た歴史と天皇制の持つ本質・役割を隠蔽し、とりわけ天皇の「戦争責任」と「戦後責任」をあいまいにし、「明治50年」天皇の「退位・即位・改元」の「代替わり」を喧伝し「マスコミ」の煽る祝賀ムードに沸く人々の意識を利用しながら、新たな9条改憲「戦争のできる日本帝国主義国家」への道を暴走している。

安倍政権の闘いにおいて、戦前・戦後の近代日本国家の中にある断絶と連続性において、朝鮮侵略、沖縄差別、安保と天皇制の三位一体の「この国のかたち」の根本問題を踏まえて闘うことが日本の階級闘争の前進のため重要となって浮上している。

本紙は、こうした基本的態度と情勢認識に立って、本年の天皇の退位・即位・改元をもってする権力と資本の攻撃の本質を改めて鮮明にし、これへの反響を新たな反天皇制闘争の飛躍の出発点として行くために、昨年8月より8回にわたって、菅野行氏の「天皇制と闘う」という一冊を連載してきた。

菅野はその連載の最終回に「日常の空間の中に、ある大衆が、資本制のイデオロギーと国家の価値の呪縛から解放されたその度合いこそが、結果として天皇幻想からの解放の度合いに

他ならないからである。闘う大衆に必要なのは、直面する個別の現実を要する物質力となる理論と、先進的な「社会的左翼」が目指してきた、日常における強固な経済的基礎に基く人間関係の獲得である。換言すれば「社会的左翼」こそが、はじめて天皇制の統治を政治的に失効させる規定力を育てるのである。」と。

この5月、「平成」から「令和」へ新しい時代の幕開けです。テレビ・新聞は連日、洪水のように「奉祝」報道を繰り返す。街に祝意の言葉があふれた。安倍政権は「やったり」とばかりに天皇の代替わり・改元を政治利用し、沖縄の新基地

建設を強行し、9条改憲——戦争国家に向かう道に人々を草の根から動員しようとしている。社会的左翼には、資本主義と国家の価値の深部に唾を吐いた理論構築と人々の労働と暮らしの中でそれらの呪縛を解く活動が急がれる。

こうした問題意識に立って、先の連載に続けて、今号に上記タイトルの総論を、次号からは先の連載で十分に展開されなかった「天皇制と日本資本主義等」についての補論を掲載する。

「コモンズ編集委員会」(注)なると今号の原稿は「変革のアナシ」工季刊35号の巻頭言よりの転載)

1、天皇制国家にいかにして始末をつけるか

菅孝行 (評論家)

スフィンクスとしての天皇制

天皇制問題は、日本の政治思想・革命理論にとっての「スフィンクス」である。戦前、このアポリアに立ち向かった左翼は、次々、謎を解けず取って食われた。

講座派は、天皇制という日本固有の統治形態に着目することになったが、コミンテルンの路線に従属することによって、現実と理論の乖離に耐えきれない陰謀にはまり込んだ。労働派は日本が高度に発達した資本制社会であること、分析に成功したが、日本君主制固有の課題を見出せなかった。いずれのエコールも日本国家の幻想の共同性、すなわち国民の畏敬の対象と

なる靈性と、政治権力と経済過程を関連づけて把握することができなかった。

敗戦後、さらに混乱を極めた。天皇は現人神でも主権者でも軍の統帥権の総覧者でも国家最高地主でもなくなつたが、占領軍の統治計画と、国体を死守するための緊急避難として受け入れた敗戦時の天皇制権力の、双方の便宜が合致したために、天皇制は「象徴天皇」に形を変えて生き残った。「象徴天皇」は、憲法の三条四条によれば、国政に関する権能を剥奪され、具体的に定められた国事と、内閣の助言

と承認に基づいて行われ、公的活動の一切を禁じられた。それは、天皇を国民の選んだ国会が選ぶ民主主義的な政府の口

だが、占領下の天皇制には少なからず二つの点で、第一に「沖繩メッセージ」によって米軍の無期限駐留の道を開いた。これが今日の沖繩と本土とアメリカの関係の土台を作った。第二に、講和条約の策定期に占領統治の意向を付度し、アメリカのダレス大使と会談して、反共・親米の部分講和を積極的に推進するなど、「内閣の助言と承認」を経ない外交を自身の独白ルートで推進した。これが日米安保体制の礎を築くことに寄与した。違憲の政治の一線から身

を引いたのは「独立」後だった。

神道指令によって国家神道も廃絶されたかに見え、しかし、国家の靈性は温存されたのである。皇室神道と皇室祭祀はほぼ戦前そのまま私事として天皇家に

生き残った。宮中の大祭では「人間宣言」をした誓の天皇が、神の末裔としての權威に基づいて齋主をうとめてきた。大嘗祭は皇位継承者に天皇靈を宿らせ、神道の秘儀が行われ、これに国民が投入された。民間では憲法二〇条によって神社神道の信教の自由が保障された。靖国神社も、護国神社も廃棄されなかつた。公共施設の地鎮祭などが神道で行われても、最高裁は違憲判断をしなかつた。戦前の天皇制国家の宗教的權威はなし崩しで延命している。けれどもひとたび「無関心の心情」に閉じこもり、敗戦後の「原始的」インフレーションの嵐のなかでもっとも直接的な個人生活の防衛を経験した国民を積極的にインテグレートすることは容易ではなかつた。国民生活をつらぬく「天皇制」は国民各個の生活領域に分極化され、個人とその生活集団との「平穏な」日



敗戦による延命の過程の根源的な欺瞞を、最も鋭く暴露したのは反米極右の三島由紀夫であった。三島は「英霊の声」で、特攻隊はじめ日本の将兵を、神として死地に赴けと命じながら、国体延命のために「人間」となった自分を呪い、自刃に際しては、このままでは自衛隊はアメリカの傭兵になると言及した。だが三島の呪詛は虚空に消えた。

戦後天皇制は「象徴天皇制」を「一条文化」化する過程において、史上最高度の発展段階にある天皇制として自己を開示する端緒を開いたのである。(5面に続く)

三島由紀夫の警告と無意識の天皇制

買弁天皇制

象徴天皇制は、国家権力が自己を正当化し、莊厳化するための道具として機能してきた。本来ならば、敗戦から、「独立」の時期に、戦後日本国家の統治形態における天皇の位置を理論的に明確にすることが左翼に問われていた。だが、その課題は、新旧両翼の何れによっても果たされなかつた。唯一、例外があるとすれば藤田省三の次の分析である。

能を見出ししている。したがって、アメリカニズムの流行は、それが日常生活の回転を容易にし、また生活の便宜化をもたらすかぎり、平穏生活の一つの手法として歓迎され、街や村における「天皇制」と日常生活におけるアメリカニズムとが相互に補強しながら、社会の深部において結合している。

この両者の結節点は戦前とことなることなく、無数の小生活者集団の長、つまりいわゆる「中間層第一類型」である。買弁天皇制の足場はここに定着する。」(「天皇制国家の支配原理」)

買弁とは、宗王国や占領者の利益に奉仕することに自己の利益を見出し、同胞を顧みない資本や社会階層のことを意味する。藤田の認識は早見であった。



補論への「さういふ事か」





# 「天皇制と闘うとはど

(4面から続く)

……天皇制の最高形態とは、決して天皇親政を必要としない。条件とするものではない。……天皇制はたしかに政治的な制度であると同時に、精神的な権威の機軸を保持的に保証するところの内面化された「制度」でもあるが、だからといって、つねに価値の中核たる天皇が末端にまで顕在化された意識として喚起されていることをもって高度であるとい

うるものではない。むしろ、このすくえて人工的な出自を持つ制度が、あたかも自然であるかのよう、どれほど内面化されているか、このすくえて非身体的な作為の所産が、それほごあたかも有機的身体の如くに機能しているか、が問題であろう。

（「天皇制の最高形態とは何か」初出『情況』一九七三年十一月合併号）

だが、沖繩は、この天皇制民主主義の外部にあって、旧大東亜共栄圏の国々の国民は、戦後日本国家を継承した現天皇は、即位以後今日まで、憲法の掲げる理念に忠実な象徴たらんとする姿勢を貫いてきた。他方、「国民」は

平成の三十年間には、より錯綜した事態にわれわれは遭遇した。国体護持のための緊急避難として、戦後の「民主化」と象徴天皇制を受け入れた天皇裕仁と違って、皇位を継承した現天皇は、即位以後今日まで、憲法の掲げる理念に忠実な象徴たらんとする姿勢を貫いてきた。他方、「国民」は

かならずしも憲法三原則を重視せず、結党以来改憲を党是とする自民党が常に最大多数党であった。第二次安倍内閣の成立以後、立法府が憲法九十九条に逆らって、改憲を主導するの常態となり、天皇が護憲、政府が改憲という異様な対立構図が出来上がった。安倍政権の改憲志向は、国益を追求

するものでさえなく、対米隷属の外交姿勢と一体のものである。その渦中で、明仁天皇は二〇一六年八月八日、生前退位を可能にする法的措置を国政の権能を有する政府に求める声明を発した。その内容は、過剰なほごに慎重に熟慮されていく真意を特定し難いところがあるが、この文面は憲法制定から七十年、憲法の精神に照らして、国政はこれだけのいかのよう

な国政の下で天皇が存在する意味があるのか、生前退位の要否を奇貨として根本から再審する機会にしてほしいという問いかけと読むべきであろう。但し、それは象徴天皇制の永続のための再審である。

このメッセージは、特定秘密保護法や戦争法制に反対してきた九条護憲の革新派の多くに共感を呼び、天皇への共感が天皇制を容認する空気が革新勢力にも醸成されるに至っている。また、一九九九年のメーデーを即位・改元の日に決めた。奉祝の共同性によって労働者の祭典を呑みこもうとするイデオロギー戦略である。権力及び資本制と闘う勢力には、反奉祝統一メーデーで迎え撃つ以外に、この通過儀礼の日を迎える途はないだろう。

革新の多数派が天皇に親和の情を抱き、天皇制を維持強化しようとしている勢力が天皇夫妻を忌避し、アポロロイアは何か。共和制国家には霊性は宿らないのか。左翼は今、日本の資本制に依拠した権力の統治をどのように転

倒するのか、天皇の霊性の始末をどうつけるのか、また、君主制の転倒の後に来るものは何か。民主主義のアポロロイアは何か。共和制国家には霊性は宿らないのか。左翼は今、日本の資本制に依拠した権力の統治をどのように転

## 読者からの通信

### 天皇代替わりに思う

19世紀末から20世紀初頭、帝国主義の時代に、支配する国のグループの側に駆け込みで参入した日本は、永続的な侵略戦争を繰り返した。その芯棒になったのが近代天皇制であり、それは軍隊と特高という暴力に支えられていた。天皇の軍隊がアジアにもたらした被害は途轍もないものだった。この核心を抜きに近代天皇制は論じられない。

時代は過ぎて現在、合理的に考えれば、天皇制も元号も何の必要もないし、差別的な制度であることは論を待たないであろう。にもかかわらず、知識人があれこれ天皇制を論じながらこの当然のことを公で言う人はいない。天皇制を批判

### 西暦でなぜ悪いのか

先日証明書が必要となったので区役所に行き、証明書用紙をもらって描き始めた。すると、生年月日の欄に「明治・大正・昭和・平成・西暦」とあった。元号が書いてないのが理想ではあるが、それでもちゃんと西暦でも描けるようになっていく。これはいい。区の行政方針に少なからず敬意を表し、私は西暦で生年を書いた。そして窓口で提出したのである。

先日証明書が必要となったので区役所に行き、証明書用紙をもらって描き始めた。すると、生年月日の欄に「明治・大正・昭和・平成・西暦」とあった。元号が書いてないのが理想ではあるが、それでもちゃんと西暦でも描けるようになっていく。これはいい。区の行政方針に少なからず敬意を表し、私は西暦で生年を書いた。そして窓口で提出したのである。

職員の、私の提出した証明書に目を通したあと、やおらボールペンを持ち出し、私の書いた西暦を消し、昭和に書き直した。なんぞ、これは！腹が立った。せっかくなので用意してくれている西暦の欄の職員が勝手に消しているのか！

今回はあつげにとられて何も抗議できなかった。この次には絶対に抗議しよう！元号は極力使わせないで。

（60代、男性 5月6日）



**いま天皇制を考える 改元・改憲・廃絶**

季刊 No.35 2019.3

変革のアソシエ Associe for Change

巻頭言 ■菅孝行 2  
 〈象徴〉の外を穿つ 2  
 戦後国体の終りの始まりと沖繩 ■仲里効 7  
 白井聡氏インタビュー 天皇制・アメリカ・政権 7  
 今何を問うべきなのか ■聞き手・菅孝行 25  
 二〇一九年・天皇の代替わり 私たちは生のサンジカへの希求を貫く 25  
 『米騒動』二〇〇年プロジェクトを終えた私たちの「現在地点」 40  
 ■生・労働・運動ネット富山 40  
 戦後国体の天皇・階級・差別 53  
 幻惑する「屈辱の記念碑」 ■羽黒仁史 53  
 改元を迎える天皇制 62  
 神権・象徴・廃絶 ■塩野谷恭輔 62  
 天皇制と闘うとはどういうことか 76  
 隣人を「同志」にすること ■菅孝行 76

2019年3月1日発行 定価(本体1,000円+税) コモンズでも扱っております。

## 鼎の軽重を問われる左翼



このメッセージは、特定秘密保護法や戦争法制に反対してきた九条護憲の革新派の多くに共感を呼び、天皇への共感が天皇制を容認する空気が革新勢力にも醸成されるに至っている。また、一九九九年のメーデーを即位・改元の日に決めた。奉祝の共同性によって労働者の祭典を呑みこもうとするイデオロギー戦略である。権力及び資本制と闘う勢力には、反奉祝統一メーデーで迎え撃つ以外に、この通過儀礼の日を迎える途はないだろう。

# 「反緊縮のマクロ経済政策諸理論とその総合」を読んで

「編集部より」緊縮財政による国際金融資本の締め付けに対峙するように欧米では、左派を中心に「反緊縮」傾向への期待が急速に拡大する。英国労働党コーピンの積極財政論、貧困層への富の回復を訴えるラッセル黄色いベスト運動などの動きは今後の世界の潮流だろう。わが国でも大衆貧困化を食い止める「反緊縮」策で、蓄積マーク運動を提唱する松尾匡立命館大学教授がこれら概要を報告。欧米の現情勢をまとめたその最新論文が大きな話題を呼び、編集部にも関係者の論考が寄せられている。

## 1、階級的視点と現実の経済

松尾先生も白井聡さんとの論争で階級的な視点の重要性を指摘し、本論文でも結局労働者協同組合などが本場の意味で生産手段共有の内実を持つためには、全社会的な規模での投資の社会化がなければならぬ。

それは、民主的國家の手への信用の集中という「共産黨宣言」の命題に戻ることである。これによって、基本的な視点は松と変わらぬのかもしれない。

そこで反緊縮論争について、それは何を巡る階級闘争であるのかといったこと、これが重要と考えました。誰が何のためにという問題を抜きにして、資本主義制度を前提とした政策論争としてしまつと、反緊縮を巡る議論もつまらないものとなるでしょう。

## 2、経済学理論について

史を踏まえても、債権の貸手側の国における議論として少くも様相を異にしているかと思ひます。

ここでは政府の公共的支出の削減に反対する一方、大企業や富裕層に負担をかける増税(財源をいふ)を求められています。

この後者が一つの核心をなしていると思ひます。

大衆闘争が後退し、新自由主義が跋扈する中で、ピケティなども詳しく書いたようにグローバル大資本はここぞと課税から逃れ、民衆だけが課税強化の対象とされていく状況です。

国家財政が破綻するのはその中で必然です。

タックスヘイブンで逃れた税金があれば世界の貧困層を私は高校を中退するまでは数学が好きでしたが、その後使わなくなったので忘れてしまいました。よって関数での解説部分は理解できませんでした。

アメリカでキャッシュ・オニールさんという数学者が「アルゴリズムによる加算を止めよ」と訴えています。

現在、特にICTに関連する分野や、また行政でも、数学を使った部分が内容を抜きに結論として強制されていることを弾劾しています。

数式の結論は客観的な真理のように取り扱われますが、そこには数式の前提とされている命題やデータの抽出の是非が隠されています。

「流動性偏好」という需要の側、「心理」を打ち出すわけです。この「心理」はまた別の心理を持ち出します。

要するに本来一致するはずの需給バランスの歪みを正す財政政策という発想です。

ケインズにしてもMMTにしてもヘリコプターマネー派にしても、その解釈の違いによって読めました。

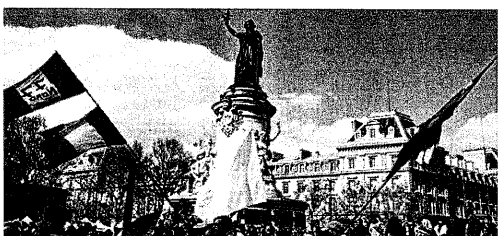
ところで、20世紀前半のヨーロッパのハイパーインフレーションの後進国における債務危機などによるハイパーインフレーションをMMT学派などはどう説明するのかという疑問が浮かびました。

それは一國レベルの政策の失敗ではないはず。

私の書籍「ケインズ派とは別のもの」です。

資本論第3巻の再生産表式のように、資本主義における需要と供給は、単なる貨幣を媒介にした商品交換ではなく、それはその交換を通じて資本主義の生産体制そのものが再生産されなければならないのです。

# 国際連帯と運動の拡がり目指し「反緊縮」



黄色いベスト運動はフランス・マクロン背後の国際資本まで標的か?

私の狭い見識では、ヨーロッパの反緊縮闘争という、リーマンショック後のパンデミックの中、2015年前後、ポルトガル・イタリア・ギリシア・スペイン(PIG Sなど)で言われた「トロイイカ(EU)ECB IMF」による債務返済のための緊縮財政強要に対する激しい闘争を想起します。

これはドイツ金融資本などの国際大資本が貸手責任を棚に上げ、民衆の利益と権利を犠牲にして債務の返済を迫ってきたに過ぎないものでした。反緊縮はグローバル大資本の搾取に対する労働者民衆の正義の要求でした。

似たようなことが1980年代の中南米のIMF暴動などとしてあつたと思ひます。

今日のサンダースやコーピンの反緊縮政策は、上記の歴史を踏まえても、債権の貸手側の国における議論として少くも様相を異にしているかと思ひます。

ここでは政府の公共的支出の削減に反対する一方、大企業や富裕層に負担をかける増税(財源をいふ)を求められています。

この後者が一つの核心をなしていると思ひます。

大衆闘争が後退し、新自由主義が跋扈する中で、ピケティなども詳しく書いたようにグローバル大資本はここぞと課税から逃れ、民衆だけが課税強化の対象とされていく状況です。

国家財政が破綻するのはその中で必然です。

タックスヘイブンで逃れた税金があれば世界の貧困層を私は高校を中退するまでは数学が好きでしたが、その後使わなくなったので忘れてしまいました。よって関数での解説部分は理解できませんでした。

アメリカでキャッシュ・オニールさんという数学者が「アルゴリズムによる加算を止めよ」と訴えています。

現在、特にICTに関連する分野や、また行政でも、数学を使った部分が内容を抜きに結論として強制されていることを弾劾しています。

数式の結論は客観的な真理のように取り扱われますが、そこには数式の前提とされている命題やデータの抽出の是非が隠されています。

## 3、運動論として

冒頭にも書いたように「結局、労働者協同組合などが本場の意味で生産手段共有の内実を持つためには、全社会的な規模での投資の社会化がなければならぬ。それは、民主的國家の手への信用の集中という共産黨宣言の命題に戻ること」が必要。

説得力ある運動になるためには、オルタナティブが是非とも必要ですが、それは自己完結的なものではなく、社会的な変革への過渡的政策と位置づけられるものだと思います。

フランスの法則も広義のセイ法則といえます。そのうち、そのうちでもそんなに違わないと思ひます。

そして、セイ法則にもかかわらず、需要供給に追いつかないのは何故かという問いに、ケインズは流動性の不足を指摘しています。

需要と供給は、単なる貨幣を媒介にした商品交換ではなく、それはその交換を通じて資本主義の生産体制そのものが再生産されなければならないのです。

その場合、通常、拡大再生産を続けるためには、資本が直接生産できない労働者数の増大が必要であり、労働者数の増大が拡大再生産を追いつかなければ、まずは消費需要が停滞して需給ギャップが生まれ、恐慌や戦争といった暴力的な破壊や調整が必要となる

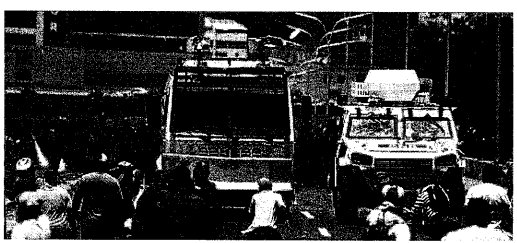
「民間債権増」政府債務増(海外の我々国民への債務増)から、財政赤字は民間の債権増にすぎないという主張があつたが、同じ民間債権増といつても持てる者で持たざる者がいます。

世界上位20人の資産が下位38億人の資産に匹敵する今日、政府の債務増は以前までは政府の財政に繰り入れられていたでしょう。

協したの、経済政策理論の違いというより政治選択の違いではないでしょうか。

経済政策は階級闘争に立脚して論じるべきだと思います。

2019年5月2日 佐藤隆



米国CIAがまたも暗躍のベネズエラで

## 国際短信

英国統一地方選、2大政党とも苦戦 EU離脱めぐる混乱響く 5月2日

【ロンドン3日ロイター】英国イングランドで2日実施された統一地方選で、保守党が苦戦を喫した。EU離脱をめぐる混乱が不支持を招き、保守党の支持率が低下した。労働党は81議席減らした。両党とも、フレグシットを巡る政治の混乱が不支持につながったとみられる。

今回の統一地方選では、イングランドの自治体の地方議会の8千議席以上が改選された。

最終集計結果によると保守党は約30%の議席を失った。労働党は81議席減らした。両党とも、フレグシットを巡る政治の混乱が不支持につながったとみられる。

地元メディアは、保守党にとって過去約20年で最悪の結果を報じている。



松尾匡さん1964年生まれ、日本の経済学者。専門は理論経済学。立命館大学経済学部教授。博士(経済学)。金融緩和策を重視し数理モデル学。分析やゲーム理論をマルクス経済学に

応用する。2007年「商人道ノス」により第3回「河上肇賞奨励賞」を受賞。著書多数。「そろそろ左派は(経済)を語ろう」レフト3.0の政治経済学」は最新刊(本誌既報)。4月の統一地方選挙と7月の参議院選挙に向けて、立候補予定者に「反緊縮の経済政策」を提起し、趣旨に賛同する候補者を「蓄積マーク」に認定。

逆を言えば、その力の分だけ大資本への課税や、増税反対と対立する公共への支出を求め、声を上げていくのだと思われまふ。

2009年13年、民主党政権が成立しながら消費税増税を掲げて自壊した当時なら、蓄積マークキャンペーンの議論も面白かったかと思ひますが、今はなかなか難しいのではないのでしょうか。

冒頭にも書いたように「結局、労働者協同組合などが本場の意味で生産手段共有の内実を持つためには、全社会的な規模での投資の社会化がなければならぬ。それは、民主的國家の手への信用の集中という共産黨宣言の命題に戻ること」が必要。

説得力ある運動になるためには、オルタナティブが是非とも必要ですが、それは自己完結的なものではなく、社会的な変革への過渡的政策と位置づけられるものだと思います。

フランスの法則も広義のセイ法則といえます。そのうち、そのうちでもそんなに違わないと思ひます。

そして、セイ法則にもかかわらず、需要供給に追いつかないのは何故かという問いに、ケインズは流動性の不足を指摘しています。

需要と供給は、単なる貨幣を媒介にした商品交換ではなく、それはその交換を通じて資本主義の生産体制そのものが再生産されなければならないのです。

その場合、通常、拡大再生産を続けるためには、資本が直接生産できない労働者数の増大が必要であり、労働者数の増大が拡大再生産を追いつかなければ、まずは消費需要が停滞して需給ギャップが生まれ、恐慌や戦争といった暴力的な破壊や調整が必要となる

「民間債権増」政府債務増(海外の我々国民への債務増)から、財政赤字は民間の債権増にすぎないという主張があつたが、同じ民間債権増といつても持てる者で持たざる者がいます。

世界上位20人の資産が下位38億人の資産に匹敵する今日、政府の債務増は以前までは政府の財政に繰り入れられていたでしょう。

協したの、経済政策理論の違いというより政治選択の違いではないでしょうか。

経済政策は階級闘争に立脚して論じるべきだと思います。

2019年5月2日 佐藤隆





# 反天皇制闘争を たたかって

池田 崇



## 4月〜5月天皇代替わり 情勢を闘って

5月1日の天皇代替わりに向けて東京で行われた連日の反天皇制の取り組みに参加した。4月28日には渋谷において「反天皇制・反戦・改憲阻止行動」のデモに参加、集会には登壇してスピーチを行なった。

おわたんねっこの呼びかけた4月30日の新宿アルタ前行動では、すでに「奉祝」の垂れ幕があちこちに飾られ、奉祝ムードを演出していた。右翼の妨害のなか、アルタ前の路上で参加者が代わる代わるスピーチや音楽に合わせてシュプレヒコールをあげた。シュプレヒコールをあげることで奉祝ムードをぶち壊すことに成功した。沿道からの注目も高かったし、妨害に来た右翼・排外主義者たちもこの瞬間は大きな妨害を加

えることができず、マスコミもこの日の取り組みを取り上げざるをえなかった。行動の場所の選定からして主催側の創意工夫が有効に発揮された戦略だったと思う。

そしていよいよ5月1日はメーデーのデモ一回、反天皇制デモを2回と、1日に3回も銀座・新橋周辺でデモを行なった。特におわたんねっこの主催したデモには500人の参加者が集まり、雨の中デモを貫徹した。

私が参加した連日の取り組みにおいては、右翼の側に逮捕者は立て続けに出たものの、妨害は量質ともに激しくはなかった。それでも天皇制をテーマにしたデモや集会であれば毎回妨害にあうこと自体おかしなことだが、とはいえ、当時の記録や証言を見聞きする前回の大喪の礼、即位の礼に際しての抵抗運動に比較しても、社会運動の側が大きく後退してしまっている感拭えない。

## なぜ天皇制をなくさなければいけないのか

なぜ天皇制をなくさなければいけないのか。簡潔にまとめると、天皇制は天皇個人の振る舞いに関わらず、民族差別、女性差別、障害者差別を必然的に肯定するシステムだからだ。

さらに天皇制は現実にある階級対立や差異を隠蔽し、国民国家の中に統合する。天皇制を打倒することは、私たちが世界そのものの根本的変革という想像力を育む上で不可欠だ。

また、明仁に限って言えば、最後の在位式典において「平成において戦争がなかったことは良かったこと

かった」などと発言したが、湾岸戦争、イラク戦争における自衛隊派兵、沖縄・琉球弧をはじめとする米軍基地の押し付けや自衛隊配備など、日本本土で死者がでなければ（あるいは攻撃されなければ）平和であるという幻想を在位の間振り

まき続けて来た。裕仁や現政権に対して明仁の相対的に「左派らしい言動」に反安倍政権、左派、リベラルのある部分が「あつめ」てしまっているのは、それが他ならぬ天皇から発せられたものであるからに過ぎない。



## 自然なものとして受容されている天皇制の恐ろしさ

最近「天皇制はいらない」というタイトルのピラをまいて、「天皇陛下は必要だよ」「反対なら日本から出てけ！」

「共産党か！」「中核派か！」「韓国人か！」とピラの内容を読みもしないくせにとにかく天皇制を問うことへの脊髄反射

的な反発とヘイトスピーチが返ってくることも他のイシューのピラまきと比べて多い。

しかし、一方で天皇制がきっちり批判されるといふことに遭遇する機会がないからか、ピラの受け取りは飛び抜けてよかった。

天皇制を考える上で最も不気味で恐ろしいのは、いかに天皇制が自然なものとして受容されているかということだ。

逆にいえば、天皇制の自然化の分析と脱自然化は、反天皇制運動に天皇制を打倒することと同じかそれ以上に重要な運動論の展開を生み出すに違いない。

## 様ざまな領域で反天皇制勢力を形成し登場する事が必要

直近では5月下旬にトランプが来日し新天皇徳仁と会談、間は空気が10月22日には即位のパレードが行われる。戒厳体制はますます厳しくなるが、とにかく街頭に、責任を付けていきます。

場に、学園に、皇居に、様々な領域で反天皇制勢力を形成し登場することが必要だ。

(編集部注) タイトル、中見出しは一部編集部の責任でつけています。

**トランプ来日・天皇会談反対！ 日米安保強化反対！**  
**沖縄に米軍・自衛隊基地はいらない！ 戒厳体制の日常化NO！**  
**沖縄・韓国の民衆と連帯して闘うぞ！**

**5・25集会&デモ**

■日時 5月25日(土)  
 ■集會 場所：ニュー新橋ビル 地下2F、ニュー新ホール(高層階)  
 時間：10:00開場 10:15開始  
 ■デモ 出発点：ニュー新橋ビル前出発  
 出発時間：12:00  
 主催：トランプ来日・G20反対！実行委員会

**4・27-5・1 ★★ ★★ ★★ ★★**  
**終わりにしよう天皇制！ 反天皇制闘争**

★1000人の健康責任を問う！  
 ★メーデーの天皇制反対の連帯行動！  
 ★メーデーは、即位の日の反対！

4月27日(土) 今こそ問う直そう！天皇制 練馬集會  
 講演：伊藤亮「天皇制の正体」  
 ●会場：練馬区立厚生文化会館(練馬駅10分)  
 ●18:15開場/18:30開始予定  
 主催：アナルト連帯・アナルト連帯を考える連帯の会

4月28日(日) 沖縄デー集會  
 講演：天野原「アナルトと沖縄」  
 ●会場：文政記念センター2A(赤坂駅・後楽園駅)  
 ●17:45開場/18:00開始

4月29日(月) 反「昭和の日」立川デモ  
 ●経路公開  
 (立川駅かみゆみロード下伊勢橋北10分・IKEA向かい)  
 ●13:15開場/14:00デモ出発  
 ●新橋東口アルタ前広場・16:30集合

4月30日(火) 退位で終わろう天皇制！新宿大アピール  
 ●新宿東口アルタ前広場・16:30集合

5月1日(水) 新天皇はいらない銀座デモ  
 ●二新橋ビル地下2Fホール(後楽園駅)  
 ●16:00開場/17:00デモ出発

【主催】終わりにしよう天皇制！『代わり』反対ネットワーク(おわたんねっことおわたんねっこのメンバー)  
 TEL: 090-3438-0263 mail: owaten@han.ten-no.net twitter: 'おわたんねっことおわたんねっこのメンバー'

**10 沖縄県民広告運動** 沖縄の民衆は示された！ 新憲法草案は危険！

**5月20日まで受付**

●戦争させない・9条壊さない・総裁から行動実行委員会 1000人委員会  
 03(3522)29220

●9条壊さない実行委員会 03(3221)4668  
 憲法共同センター 03(5842)5611

沖縄意見広告への賛同を

**参加費 1000円/同時通訳**  
 【お断り】同シボは300人定員で事前申し込み制です。定員に達し次第受付を終らせていただきます。

お申込みはメール [kenpon@annie.ne.jp](mailto:kenpon@annie.ne.jp)  
 FAX 03(6221)25100

主催「朝鮮半島と日本に非核・平和の確立を」市民連帯行動実行委員会

●戦争させない・9条壊さない・総裁から行動実行委員会 1000人委員会  
 03(3522)29220

●9条壊さない実行委員会 03(3221)4668  
 憲法共同センター 03(5842)5611

**朝鮮半島と日本に非核・平和の確立を！ 6・7-6・8 市民連帯行動へ**

●6月7日(金)18時半開会  
 日比谷野真会(手話通訳あり)  
<http://hibiya-kokaido.com/>

●6月8日(土)  
 国際シンポジウム13時半開会・星陵会館(永田町)  
<https://www.seiryokai.org/kaikan-map.html>

韓国インフアンさん(東シヤ平和会議)  
 パク・チュンウンさん(参与連帯事務局長)  
 ハン・チュンモクさん(韓国進歩連帯代表)  
 朝鮮リ・ヒョンフイさん(朝鮮大学校教員)  
 日本湯浅一郎さん(ピースポ代表)  
 和田春樹さん(日朝国交正常化連絡会)  
 庵谷由香さん(立命館大学教員) 予定

主催 市民連帯行動実行委員会



# 主戦場

SHUSENJO: The Main Battleground of The Comfort Women Issue

## 2019年4月20日公開映画作品

### 【全国上映館】

- 東京 シアター・イメージフォーラム(渋谷)
- 愛知 シネマテーク(今池)
- 大阪 第七藝術劇場(十三)
- 京都 京都シネマ(烏丸)



ミキ・デザキ監督

## 「従軍慰安婦」問題、左右の激突



第二次世界大戦下、旧日本軍が引き起こしたとされる歴史犯罪の中でも「従軍慰安婦」問題は、いまだ論争の間にあり、

慰安婦たちは性奴隷だったのか? 「強制連行」は本当にあったのか? 日本政府

日米アメリカ人監督ミキ・デザキが「慰安婦問題」をめぐる論争を様々な角度から検証・分析した作品がこれだ。

韓半島から拉致連行された女性たちが、慰安婦として日本軍の「性奴隷」に堕とされたと言ふ事実。

それは、歴史認識と言ったところでもない精神世界を迷う巡礼者の姿にも似る。

# 異相の人の声を聞け



## 【言論バトル】

天皇フリーバーやがて皇軍赤子たれ この国が民主主義とは笑わせる 改憲派悪相ばかりよく揃い 訪米へ菅の野望はすでに飛び 十連休空想らしい給料日

## 編集室から

「令和」が始まったと、TVマスコミが一斉奏鳴を止めない数週間。何が変わったのか? 何も変わらない。天皇家という国家統治に組する名誉家元機関が、別に国民の意見も聞くことなく、自らの都合のみで代替りを宣したことで…何のことはない天皇の上にもう一つ「上皇」というポストを増やしただけのこと。

## 「モンス取扱店」

- 群馬 ●三光堂書店 伊勢崎市大手町6の24 ☎0270 (25) 2347
- 神奈川 ●中原ブックランド 川崎市中原区小杉町3の1 ☎044 (711) 2346
- 東京 ●書泉グランデ 千代田区神田神保町1-3 ☎03 (3295) 0011
- 模索舎 新宿区新宿2の4の9 中江ビル1階 ☎03 (3352) 3557
- 愛知 ●豊川堂カルミア店 豊橋市花田町西宿無番地 豊橋ステーションビルカルミア ☎0532 (55) 2810
- ウニタ書店 名古屋市中千種区内山3の33の8 新今池ビル ☎52 (731) 1380
- 岐阜 ●丸圭書店 美濃加茂市太田町2535の1 ☎0574 (25) 2281
- 香川 ●讃州堂書店 高松市松島町2の1の9 ☎087 (834) 1533
- 福岡 ●金修堂 福岡市中央区草香江2の2の7 ☎092 (731) 2612
- 沖縄 ●ブックスじゅん 宜野湾市真栗原2の3の3 ☎098 (897) 7241

「コモンズ」取扱店は今後も増やしていく予定です。

# 6.12公判傍聴へ!

## 伊達判決を生かす会の国賠訴訟 第一回公判



写真は昨年の伊達判決 59周年集会

伊達判決を生かす会が起した砂川事件裁判で有罪の判決で罰金刑となった元被告・土原源太郎氏たち(遺族を含む)を原告とする国家賠償請求訴訟の第一回公判が6月12日(水)午後2時33時に東京地裁の103号法廷(傍聴席1000人)で開かれることになった。

伊達判決を生かす会が起した砂川事件裁判で有罪の判決で罰金刑となった元被告・土原源太郎氏たち(遺族を含む)を原告とする国家賠償請求訴訟の第一回公判が6月12日(水)午後2時33時に東京地裁の103号法廷(傍聴席1000人)で開かれることになった。

# 反戦川柳句集

レイバーネット日本川柳班は、時事川柳を作った世の中に発信することを目的とし、3冊目の句集『反戦川柳句集』を出版した。

日時: 5月19日(日) 14時~17時  
会場: スペースたんぽぽ 東京都千代田区三崎町2-6-2ダイナミックビル4F labor-stuff@labornetjp.org

田中が各人に償還 ③人権侵害の名義棄損に対する国による新聞紙上での謝罪を求めたものである。この訴訟は、請求金額が極めて少額であり経済的補償を求めたいという目的はない。1969年に行われた砂川事件最高裁判が、田中耕太郎裁判長(当時の最高裁判官)によりアメリカ政府に密かに裁判情報提供されていたという「不公平な裁判」であったことを問及した現在の司法を告発し、また、その最高裁判決を、安倍政権が日本を「戦争ができる国」にしようとするために不当に利用したことを糾弾する目的の訴訟である。

## 次号予告

■サヨナラ安倍! サヨナラトランプ! G20大阪NO! 行動  
■6・13大阪 6・15東京  
■沖縄意見広告第10期報告集会  
■5・10東京 5・15大阪  
■労組潰しの大弾圧を許さない行動報告  
■天皇制と闘うとはどういうことか補論  
■2、日本資本主義と天皇制 他